

花巻市男女共同参画基本計画 見直しにかかるアンケート調査

報告書

平成27年4月

花巻市

調査の目的と概要

○調査の目的

花巻市は、平成19年3月に策定した花巻男女共同参画基本計画が平成27年度末をもって計画期間が満了し、全面的な見直しを実施することから市民の皆様の男女共同参画に関する現状を把握するため実施したものです。

○調査の概要

①調査対象	市内に居住する15歳以上の男女		
②標本数	2,100人		
	内訳		
	15歳～19歳		300人
	20歳～29歳		300人
	30歳～39歳		300人
	40歳～49歳		300人
	50歳～59歳		300人
	60歳～69歳		300人
	70歳～		300人
③抽出方法	花巻市民から15歳以上の男女2,100人を無作為抽出		
④抽出台帳	住民基本台帳		
⑤調査方法	郵送配布、郵送回収		
⑥調査期間	平成27年1月20日～3月31日		
⑦有効回収数	874人		
⑧回収率	41.6%		

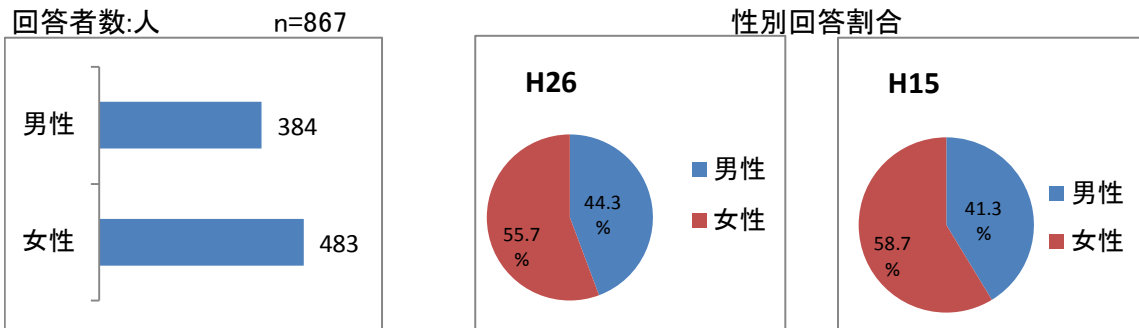
※前回調査（旧花巻市において実施したもの）

標本数	1700人	
内訳		
	18歳～19歳	200人
	20歳～29歳	300人
	30歳～39歳	300人
	40歳～49歳	300人
	50歳～59歳	300人
	60歳～69歳	300人
調査期間	平成15年8月7日～9月15日	
有効回収数	543人	
回収率	31.9%	

花巻市男女共同参画基本計画見直しにかかるアンケート調査 (平成27年1月 2,100人に調査票を郵送)

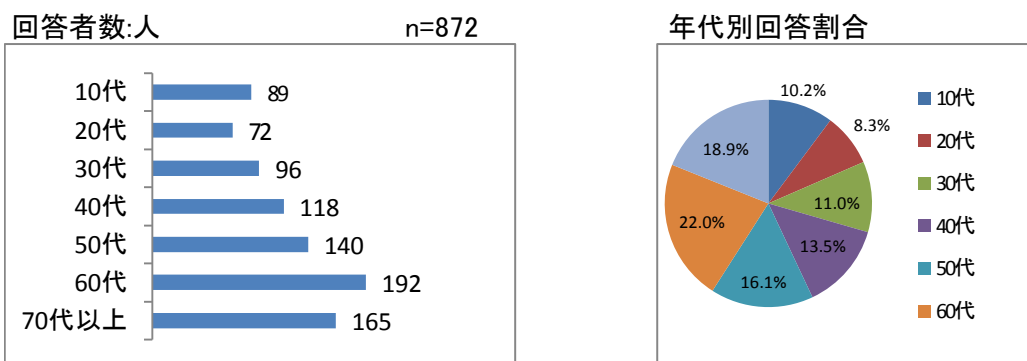
1. 自身やご家族について

【1-1】性別

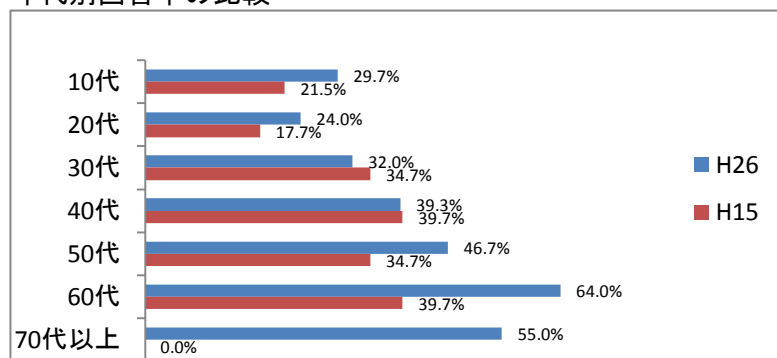


◇回答者の割合は、男性が44.3%、女性が55.7%であり、前回調査より男性の割合が3.0%増加している。

【1-2】年代



年代別回答率の比較

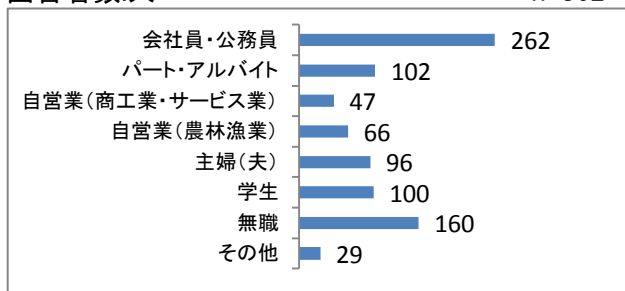


◇回答者の年代別割合では、60代が最も多く22.0%を占め、次が70代以上の18.9%となっている。
◇年代別の回答率を前回調査と比較すると、10代、20代、50代、60代で回答率が上がり、30代、40代で前回調査から微減している。(前回の調査では70代以上は調査していない。)

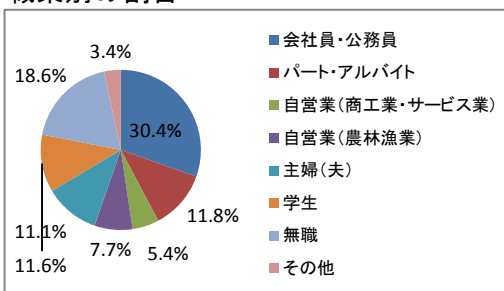
【1-3】職業

回答者数:人

n=862



職業別の割合

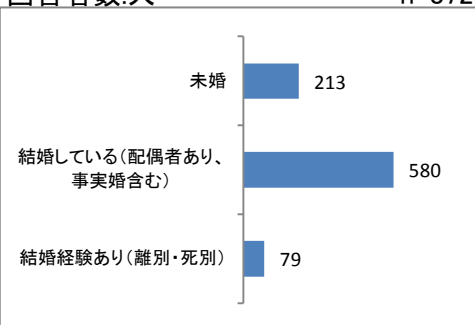


◇回答者を職業別に見ると「会社員・公務員」が最も多く30.4%となっている。次に「無職」18.6%、「パート・アルバイト」11.8%となっている。

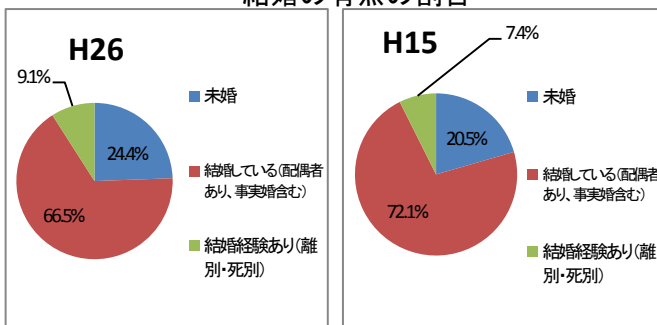
【1-4】結婚の有無

回答者数:人

n=872



結婚の有無の割合

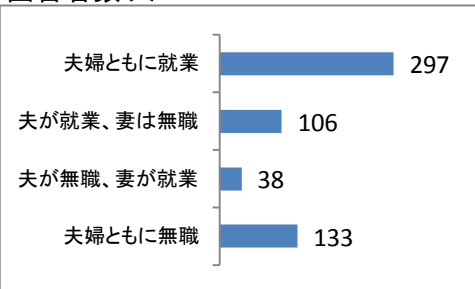


◇結婚の有無では「未婚」が前回調査より3.9%多い24.4%で、「結婚している(配偶者あり、事実婚含む)」は前回より5.6%少ない66.5%となっている。

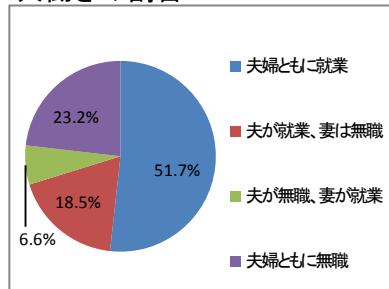
【1-5】共働きについて

回答者数:人

n=574



共働きの割合

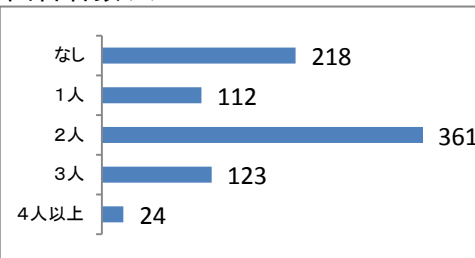


◇夫婦ともに就業している割合が51.7%と過半数を占めている。

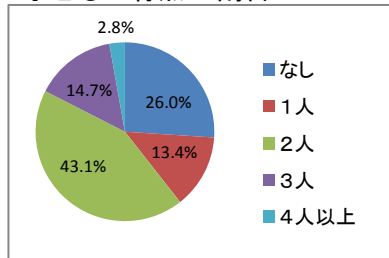
【1-6】子どもの有無

回答者数:人

n=838



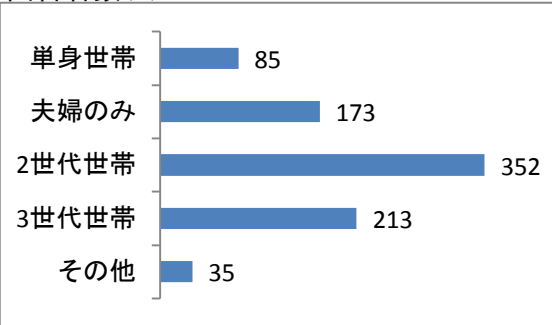
子どもの有無の割合



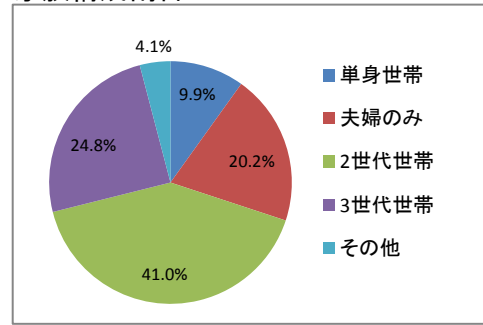
◇子ども有無では「なし」が26.0%、「あり」が74.0%となっている。
◇子どもの数では「2人」が最も多く43.1%、次いで「3人」が14.7%となっている。

【1-7】家族構成について

回答者数:人 n=858



家族構成割合

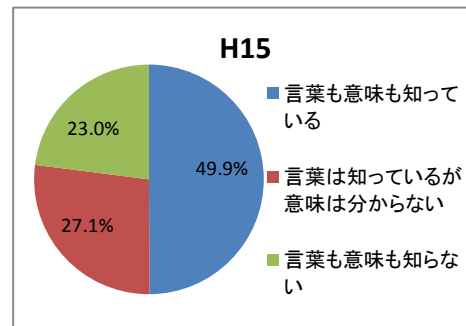
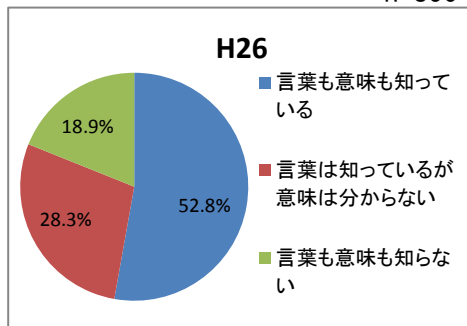


◇2世代世帯が最も多く41.0%、次いで3世代世帯が24.8%、夫婦のみ世帯が20.2%となっている。

2.男女共同参画社会について

問1 あなたは、男女共同参画社会という言葉を知っていますか。次のうちからあてはまる番号を1つお選びください。

n=856

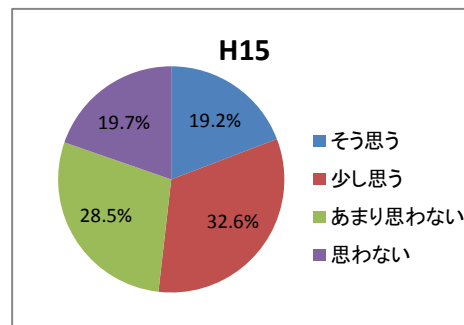
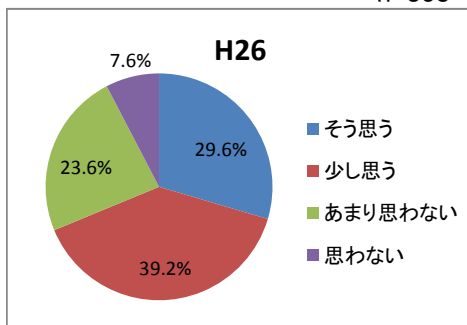


◇「言葉も意味も知っている」は52.8%と全体の約半数を占め、前回調査より2.9%増加している。
 ◇「言葉も意味も知らない」は18.9%と前回調査より4.1%減少した。

問2 あなたの周りでは、次の項目について男性と女性の地位が平等になっていると思いますか。あてはまる番号を1つお選びください。

①家庭内での男女平等

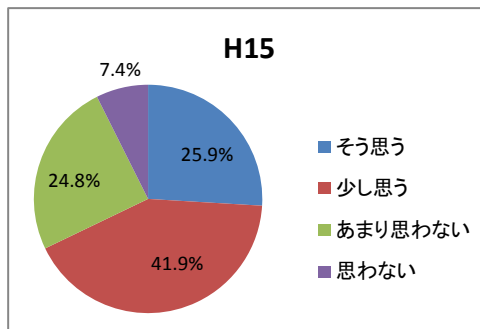
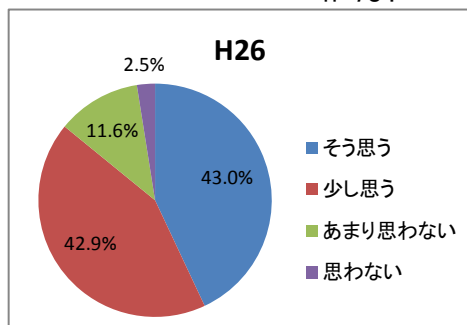
n=838



◇家庭での男女平等について「そう思う」「少し思う」を合わせて68.8%。前回調査と比べ17.0%増加している。

②学校での男女平等

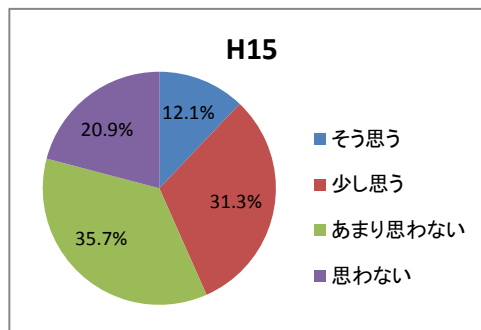
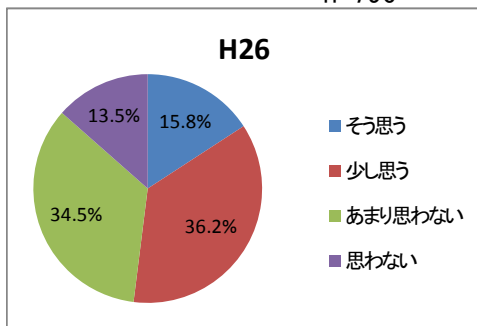
n=784



◇学校での男女平等について「そう思う」「少し思う」を合わせて85.9%となっており、前回調査と比べ18.1%増加している。

③職場での男女平等

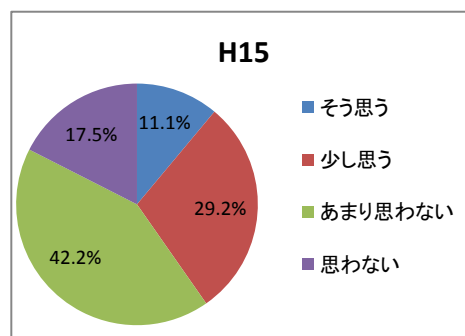
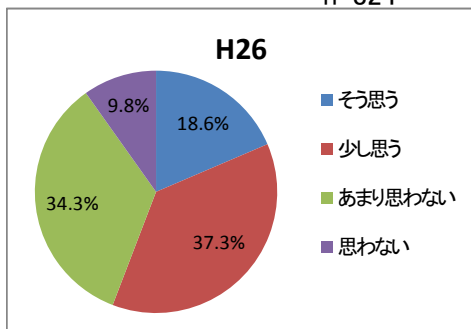
n=796



◇職場での男女平等について「そう思う」「少し思う」を合わせて52.0%となっており、前回調査と比べ8.6%増加している。

④地域活動での男女平等

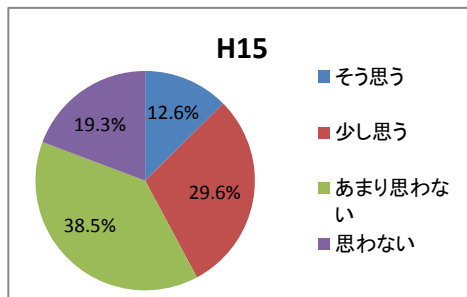
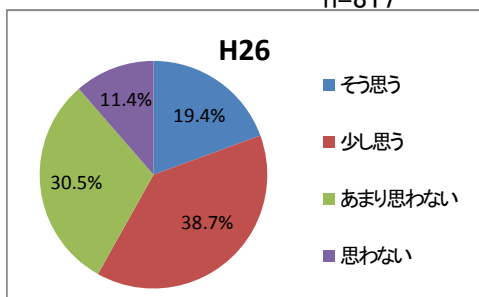
n=824



◇地域での男女平等について「そう思う」「少し思う」を合わせて55.9%となっており、前回調査と比べ15.6%増加している。

⑤法律や制度での男女平等

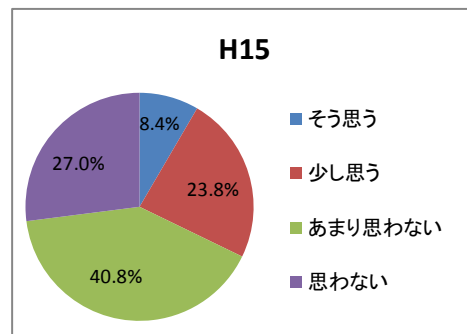
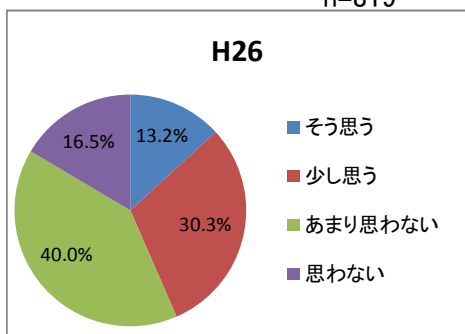
n=817



◇法律や制度での男女平等について「そう思う」「少し思う」を合わせて58.1%となっており、前回調査と比べ15.9%増加している。

⑥政治や政策決定での男女平等

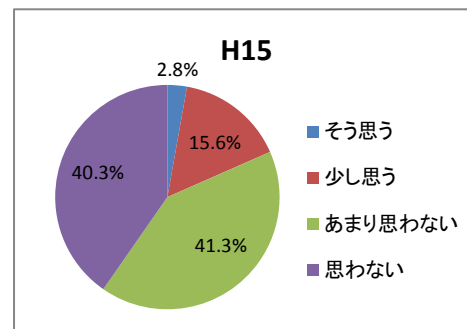
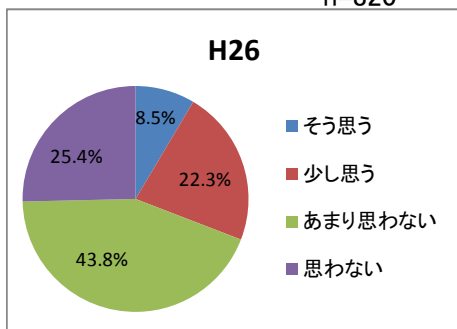
n=819



◇政治や政策決定での男女平等について「そう思う」「少し思う」を合わせて43.5%となっており、前回調査と比べ11.3%増加している。

⑦社会の習慣やしきたりでの男女平等

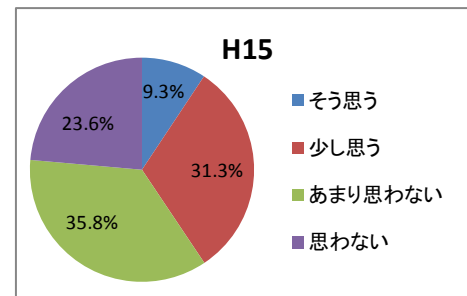
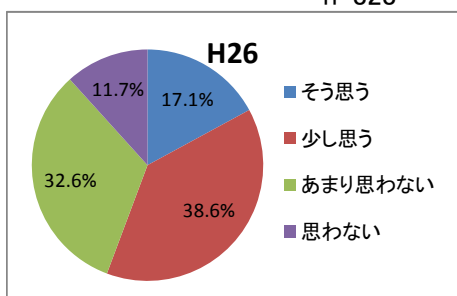
n=820



◇社会の習慣やしきたりでの男女平等について「そう思う」「少し思う」を合わせて30.8%となっており、前回調査と比べ12.4%増加している。

⑧言葉や会話での男女平等

n=828



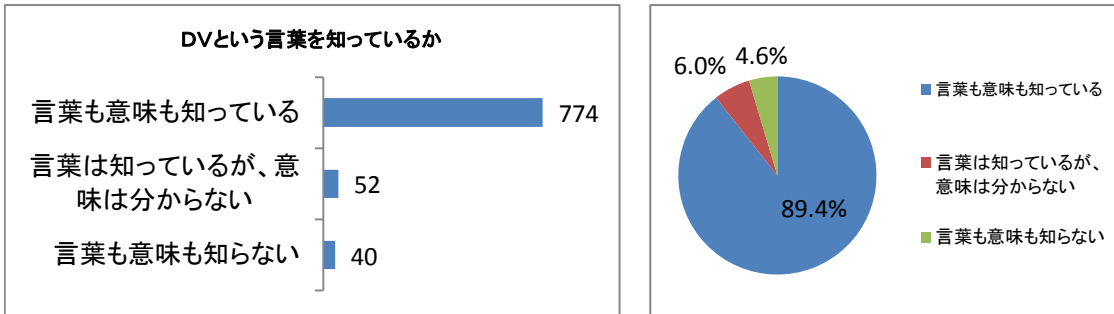
◇言葉や会話での男女平等について「そう思う」「少し思う」を合わせて55.7%となっており、前回調査と比べ15.1%増加している。

3.男女間の暴力について

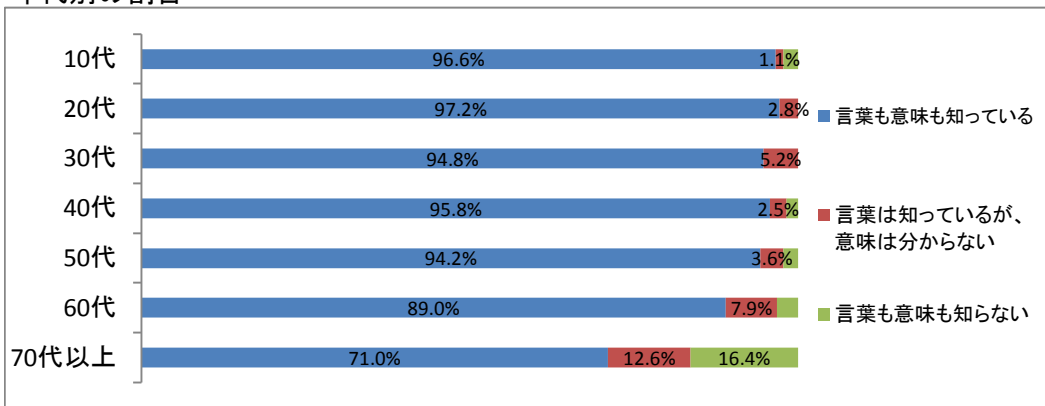
問3 DV(ドメスティック・バイオレンス)という言葉を知っていますか。次のうちからあてはまる番号を1つお選びください。

回答者数:人

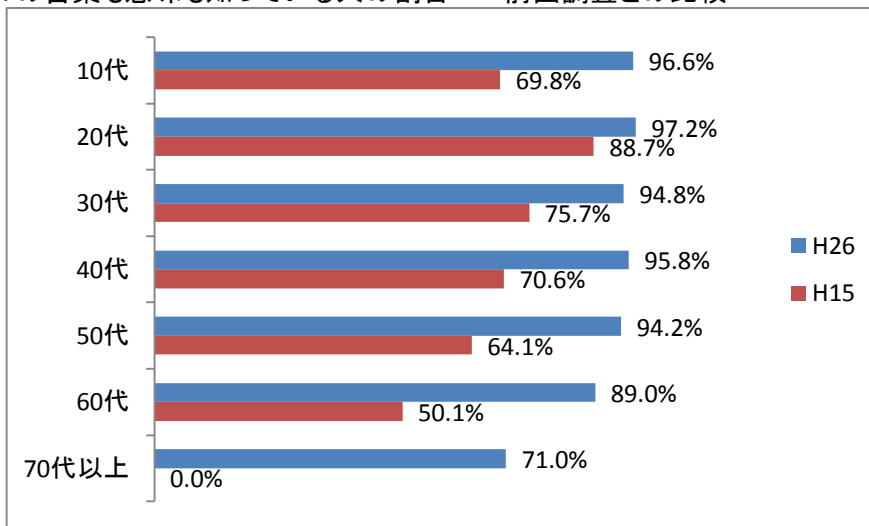
n=866



年代別の割合



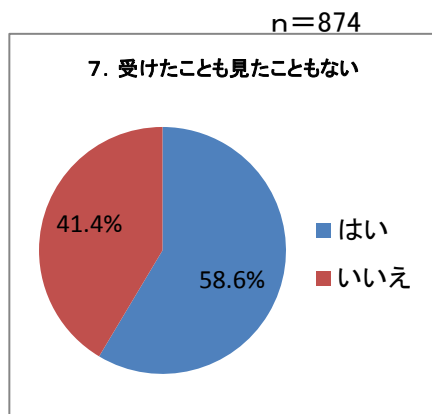
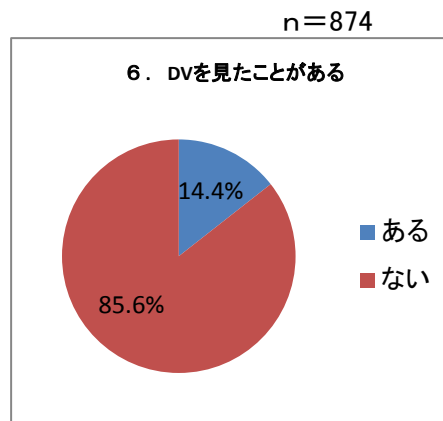
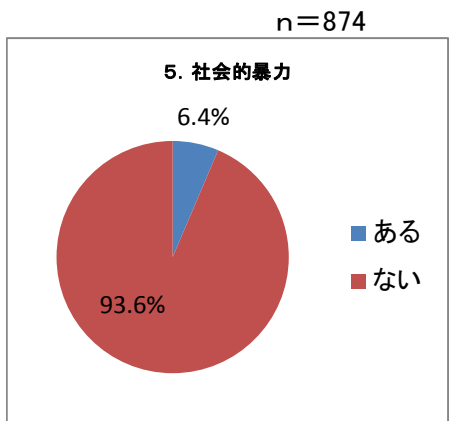
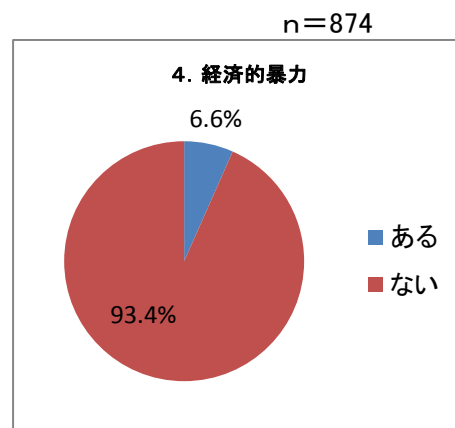
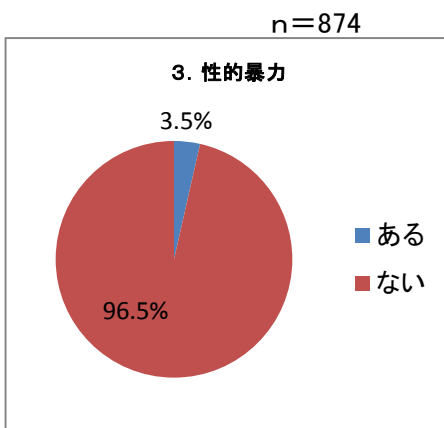
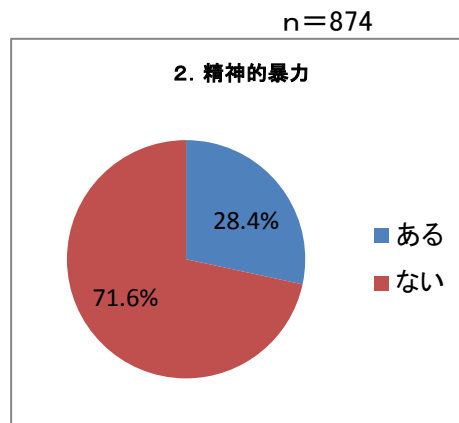
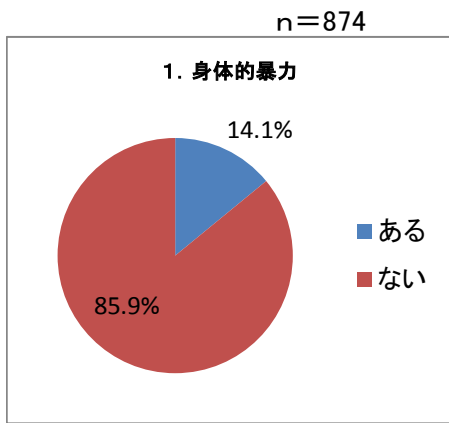
DVの言葉も意味も知っている人の割合 前回調査との比較



◇10代から50代では、9割以上の方が、60代でも9割近くの方が「言葉も意味も知っている」と回答しており、前回調査と比較しても全世代で増加している。

※前回の調査では、70代以上は調査していない。

問4 あなたは、これまでに次のようなDVを受けたことや見たことがありますか。あてはまる番号をすべてお選びください。

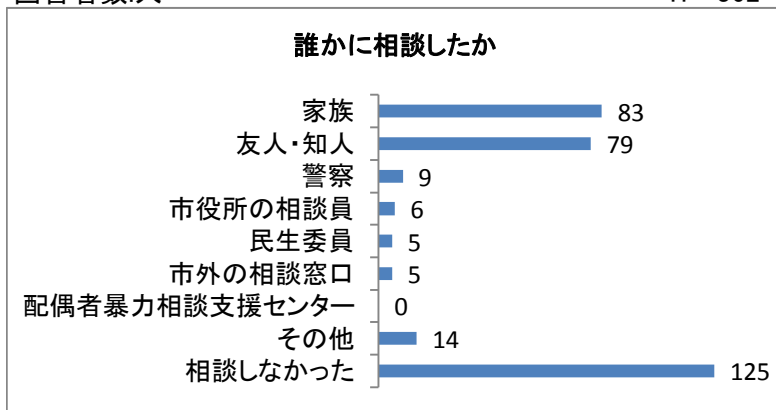


◇DVの中でも、精神的暴力を受けたことや見たことがある方の割合が28.4%と最も高く、次に身体的暴力が14.1%となっている。また、受けたことも見たこともない方が58.6%となっている。

問5 問4でDVを受けたことや見たことがあると答えた方に伺います。そのとき、どなたかに相談されましたか。次のうちからあてはまる番号をすべてお選びください。

回答者数:人

n=362

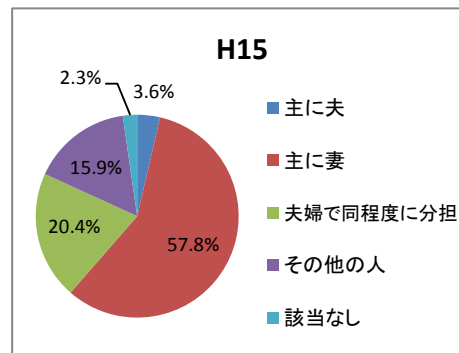
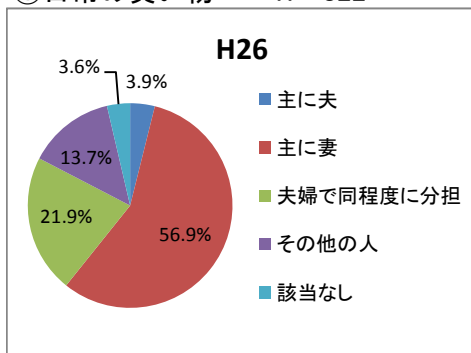


◇「相談しなかった」が125人で、34.5%となっている。
 ◇相談先は主に「家族」、「友人・知人」となっている。

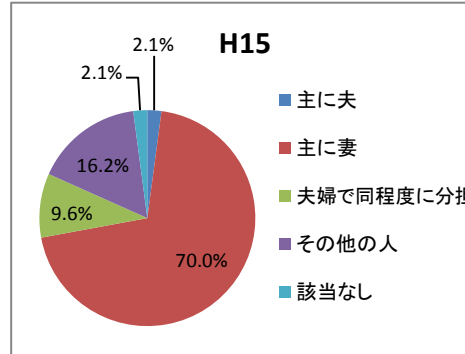
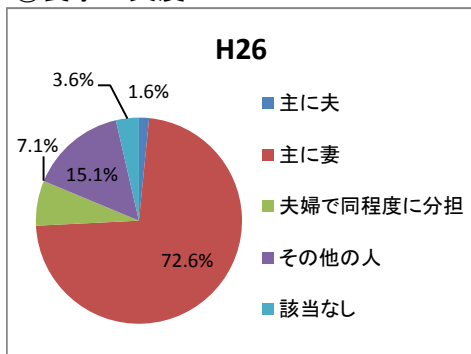
4.家庭生活について

問6 あなたの家庭では、次にあげる家事などを主に誰が行っていますか。あてはまる番号を1つお選びください。

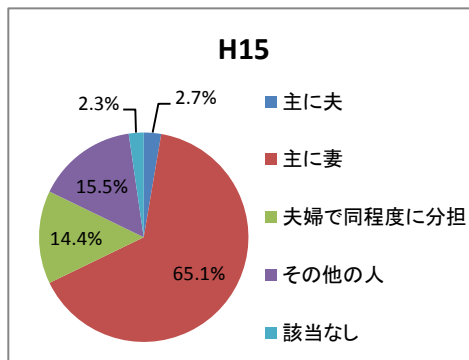
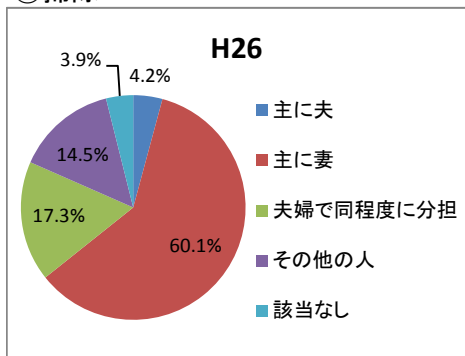
① 日常の買い物 n=822



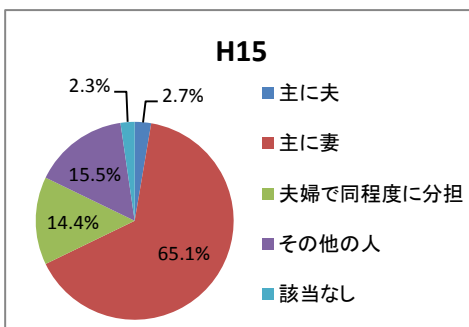
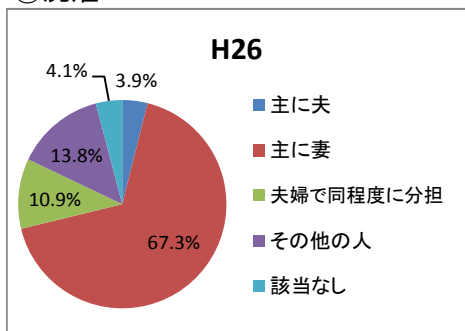
② 食事の支度 n=821



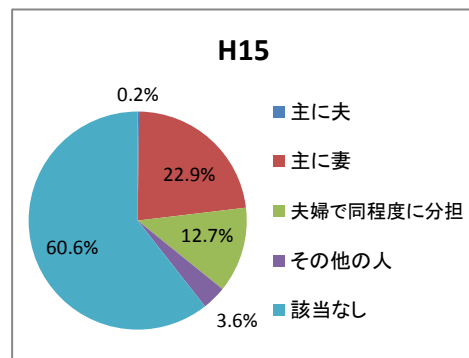
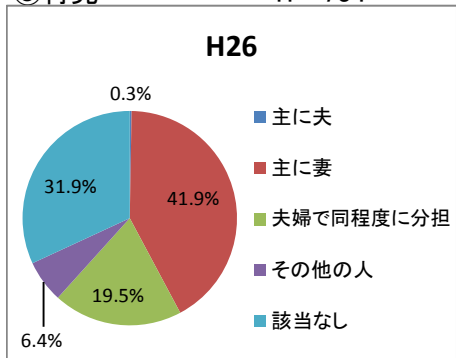
③掃除 n=820



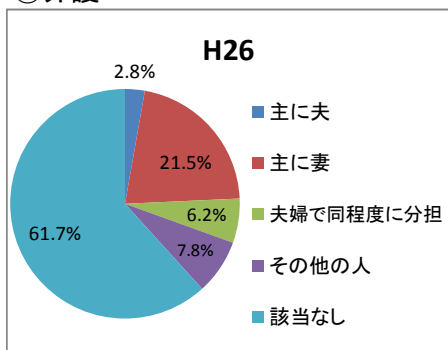
④洗濯 n=817



⑤育児 n=734

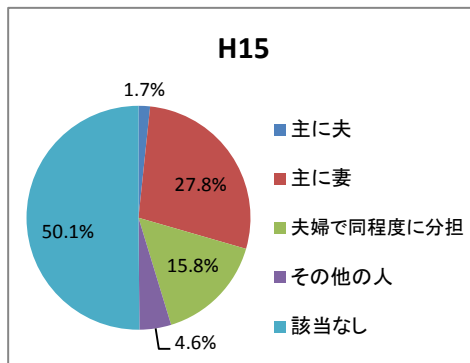
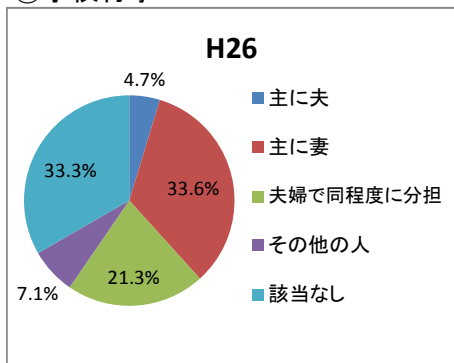


⑥介護 n=721

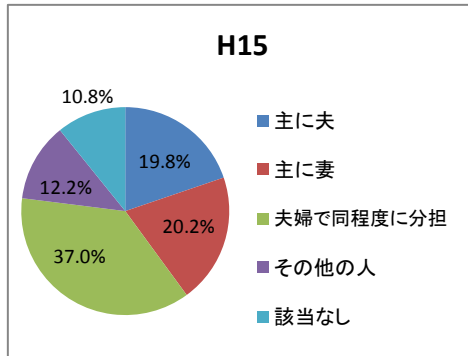
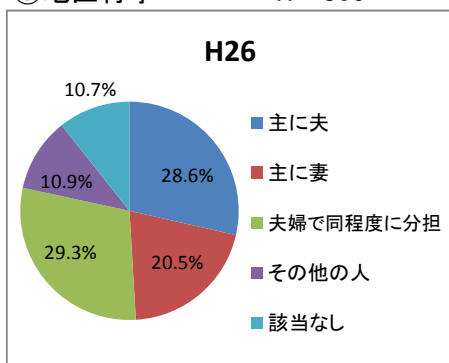


※前回調査では回答項目を設けていません。

⑦学校行事 n=732



⑧地区行事 n=805

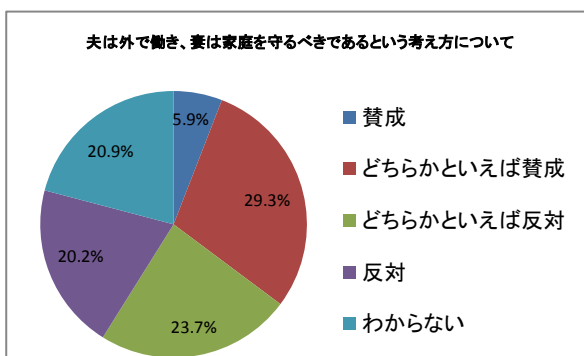
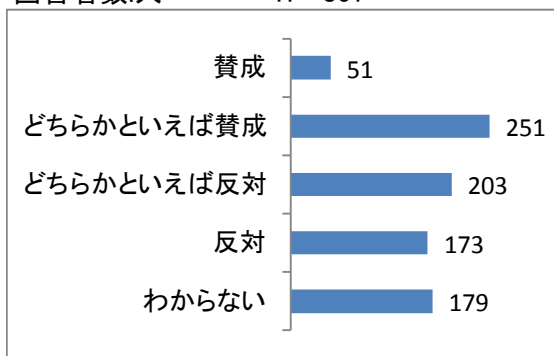


◇掃除については、「主に妻」が減少し「主に夫」「夫婦で同程度」が若干増えている。

◇地区行事については、「夫婦で同程度」が減り、「主に夫」が増加している。

問7 あなたは、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるという考え方についてどう思いますか。
次のうちからあてはまる番号を1つお選びください。

回答者数:人 n=857



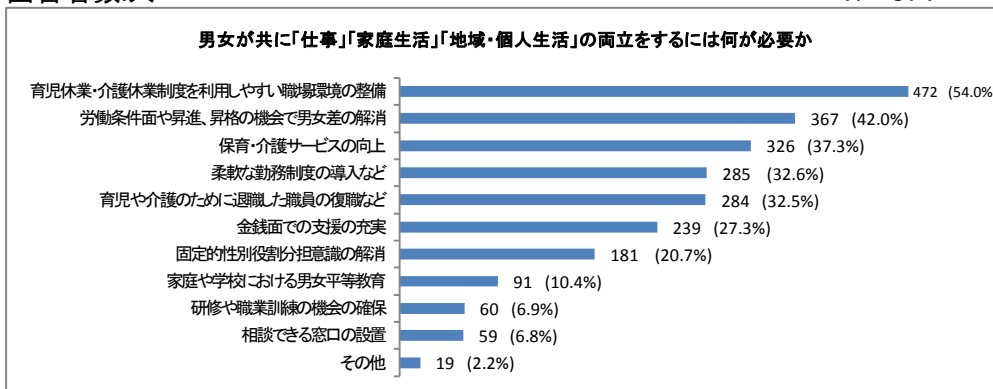
◇「賛成」「どちらかといえば賛成」が合わせて35.2%となっており、「反対」「どちらかといえば」が43.9%と反対の割合が多くなっている。

(※前回調査では、この項目を設けていない)

問8 一般に、男女が共に「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人生活」の両立を可能とするためには、特にどのようなことが必要だと考えますか。次のうちからあてはまる番号を3つ以内でお選びください。

回答者数:人

n=874



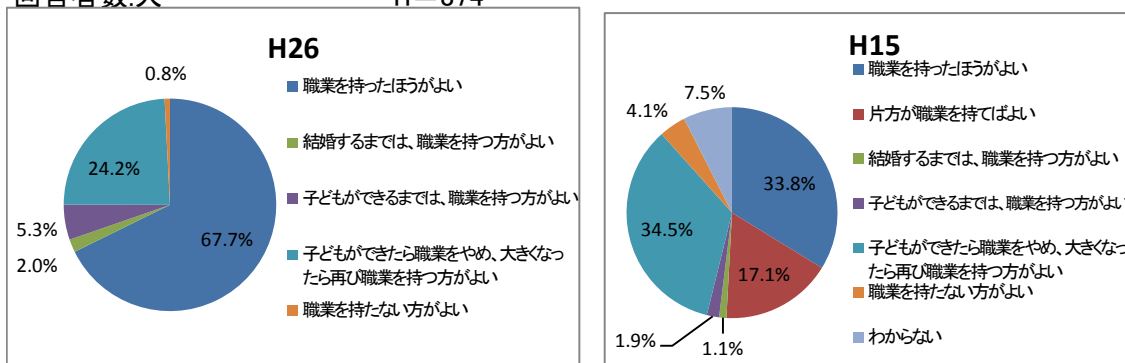
◇両立に必要なものとして「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境の整備」が最も多く、次に、「労働条件面や昇進、昇格の機会での男女差の解消」があげられている。

5.女性と職業について

問9 女性が職業を持つことについて、あなたはどのようにお考えですか。自分の考えに最も近い番号を1つお選びください。

回答者数:人

n=874

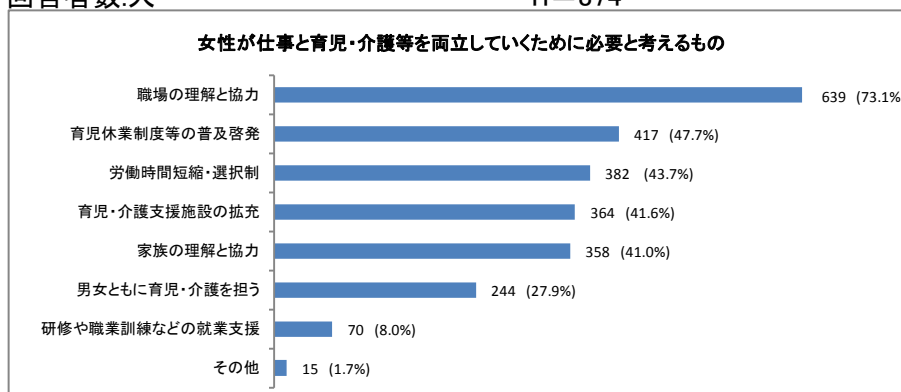


◇「職業を持ったほうがよい」が前回調査との比較すると大幅に増加している。
※ただし、今回調査では、「片方が職業を持てばよい」、「わからない」の項目を設けていない。

問10 女性が出産や子育てのために仕事を続けたくてもやむを得ず退職するケースがあります。女性が仕事と育児・介護等を両立していくために必要と考えるものを次の番号から3つ以内でお選びください。

回答者数:人

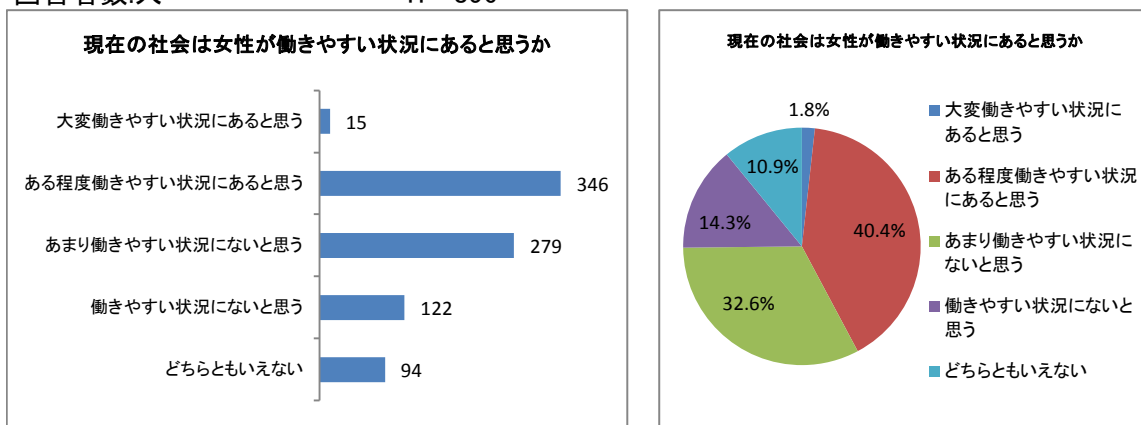
n=874



◇両立に必要なものとして「職場の理解と協力」が最も多く、次に「育児休業制度等の普及啓発」、「労働時間短縮・選択制」があげられている。

問11 現在の社会は女性が働きやすい状況にあると思いますか。あてはまる番号を1つお選びください。

回答者数:人 n=856

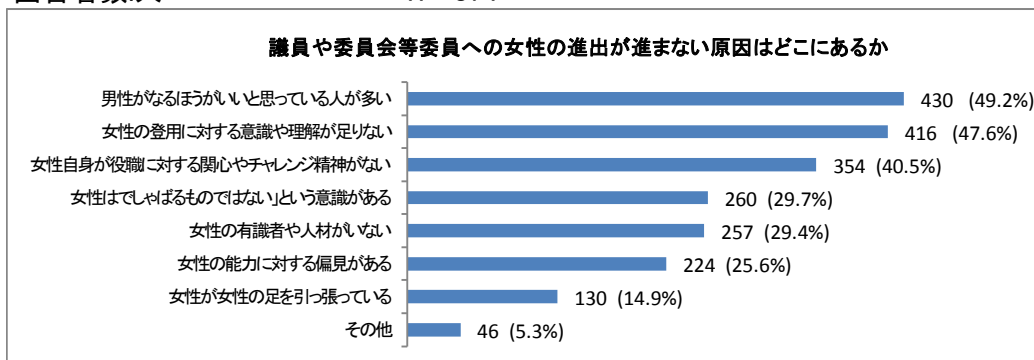


◇「大変働きやすい状況にあると思う」と「ある程度働きやすい状況にあると思う」とを合わせると42.2%であり、「あまり働きやすい状況にないと思う」と「働きやすい状況にないと思う」とを合わせると46.9%である。

6.社会の方針決定等への参画について

問12 自治会、PTAなどの役職、議員や委員会等委員への女性の進出が進まない原因はどこにあると思われますか。次の中から原因として考えられる番号を3つ以内でお選びください。

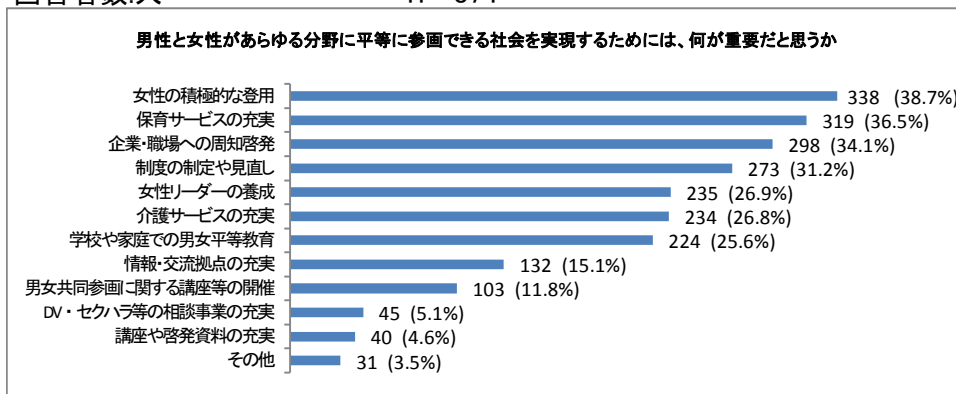
回答者数:人 n=874



◇「男性がなるほうがいいと思っている人が多い」が最も多く、次に「女性の登用に対する意識や理解が足りない」、「女性自身が役職に対する関心やチャレンジ精神がない」と続いている。

問13 男性と女性が家庭、職場、地域、政治の場などあらゆる分野に平等に参画することができる社会を実現するためには、何が重要だと思いますか。次の中からあてはまる番号を3つ以内でお選びください。

回答者数:人 n=874

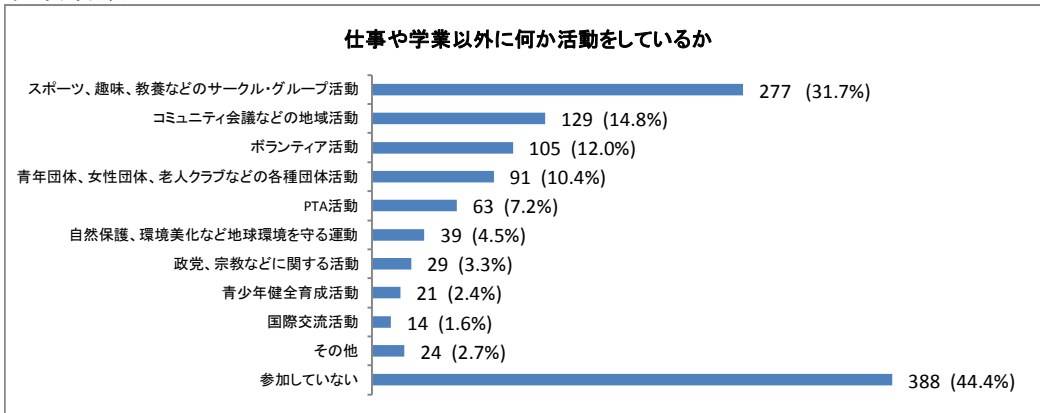


◇「女性の積極的な登用」が最も多く、次に「保育サービスの充実」、「企業・職場への周知啓発」があげられている。

7.社会活動への参加について

問14 あなたは現在、仕事や学業以外に何か活動をしていますか。次の中からあてはまる番号をすべてお選びください。

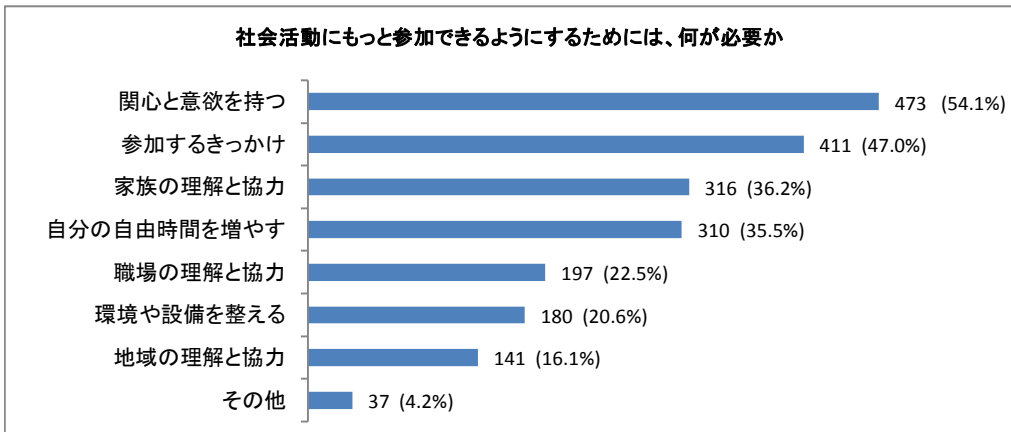
回答者数:人 n=874



◇仕事や学業以外の活動は、「スポーツ、趣味、教養などのサークル・グループ活動」が最も多いが、約半数の方は仕事や学業以外での活動に参加していないと回答している。

問15 あなたが社会活動にもっと参加できるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中からあてはまる番号を3つ以内でお選びください。

回答者数:人 n=874



◇社会活動にもっと参加できるようにするためには、「関心と意欲を持つ」が54.1%と最も多く、次いで「参加するきっかけ」、「家族の理解と協力」となっている。